

2018年5月期 決算概況

証券コード：3501
(東証一部上場)



目次

■ 表紙	1	■ 2019年5月期 連結計画	14
■ 目次	2	■ 2019年5月期 事業セグメント別計画	15
■ 2018年5月期(2017/6~2018/5) 連結業績	3	■ 株主配当について	16
■ 連結業績の事業セグメント別内訳	5	■ 第5次中期3カ年経営計画「2020」	17
■ インテリア事業	6	■ 高機能・高品質硬質床材を発売	19
■ 自動車・車両内装事業	7	■ タイ新会社 カーマット事業を開始	20
■ 機能資材事業	10	■ 床面表示フィルム「PH Film」の開発で 工業技術賞受賞	21
■ 連結バランスシート	11		
■ 設備投資・減価償却費	12		
■ 有利子負債	13		

2018年5月期 (2017/6～2018/5)連結業績

(単位:百万円)

	当期	前期	前期比増減		期初計画	期初計画比増減	
			(率)	(額)		(率)	(額)
売上高	97,872	96,038	+1.9%	+1,834	97,500	+0.4%	+372
営業利益	2,247	1,297	+73.2%	+950	2,800	△19.7%	△552
営業利益率	2.3%	1.4%			2.9%		
経常利益	2,358	1,364	+72.9%	+994	2,950	△20.0%	△591
経常利益率	2.4%	1.4%			3.0%		
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,083	26	-	+1,057	1,500	△27.8%	△416
当期純利益率	1.1%	0.0%			1.5%		

	当期	前期
為替レート (USD/JPY)	110.71	108.89

2018年5月期 (2017/6~2018/5)連結業績

売上高 **978**億72百万円

前期 960億38百万円 計画 975億円

営業利益 **22**億47百万円

前期 12億97百万円 計画 28億円

経常利益 **23**億58百万円

前期 13億64百万円 計画 29億50百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益 **10**億83百万円

前期 26百万円 計画 15億円

外部環境

■ 国内景気

企業収益が底堅く推移し、雇用、所得環境も緩やかに改善するなど、回復基調が継続した。

■ 海外景気

世界経済の回復が進んだものの、米国の政権運営の不確実性や地政学的リスクの高まりがみられ、不透明な状況が続いた。

連結業績の事業セグメント別内訳

(単位:百万円)

	当期	前期	前期比増減		期初計画	期初計画比増減		
			(率)	(額)		(率)	(額)	
売上高	インテリア	34,329	35,410	△3.1%	△1,081	36,920	△7.0%	△2,590
	自動車・車両内装	59,758	56,377	+6.0%	+3,381	56,710	+5.4%	+3,048
	機能資材	3,647	4,087	△10.8%	△439	3,710	△1.7%	△62
	その他	137	163	△15.7%	△25	160	△13.9%	△22
	合計	97,872	96,038	+1.9%	+1,834	97,500	+0.4%	+372
営業利益	インテリア	33	720	△95.4%	△687	620	△94.6%	△586
	自動車・車両内装	3,331	3,034	+9.8%	+296	3,340	△0.3%	△8
	機能資材	176	125	+40.2%	+50	140	+26.1%	+36
	その他	68	96	△29.3%	△28	120	△43.2%	△51
	調整額	△1,361	△2,680	-	+1,318	△1,420	-	+58
	合計	2,247	1,297	+73.2%	+950	2,800	△19.7%	△552

インテリア事業

カーペットを中心にカーテン、壁紙等を販売

(単位:百万円)

	当期	前期	前期比(率)	前期比(額)
売上高	34,329	35,410	△3.1%	△1,081
営業利益	33	720	△95.4%	△687

■ 業務用カーペット

水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®」の海外輸出が堅調に推移した。一方、国内市場では、高機能・高品質硬質床材「BERRY ALLOC® PURE LVT」の新発売や、オフィスビルや商業施設、ホテル向けの新築およびリニューアル案件の受注に注力したものの、大型案件が少なく、売上は前期を下回った。

■ カーテン

「mode S® Vol.8」が前期並みに推移したものの、医療・福祉・教育施設向けカーテン「Face」は案件が少なかったことから伸び悩み、売上は前期を下回った。

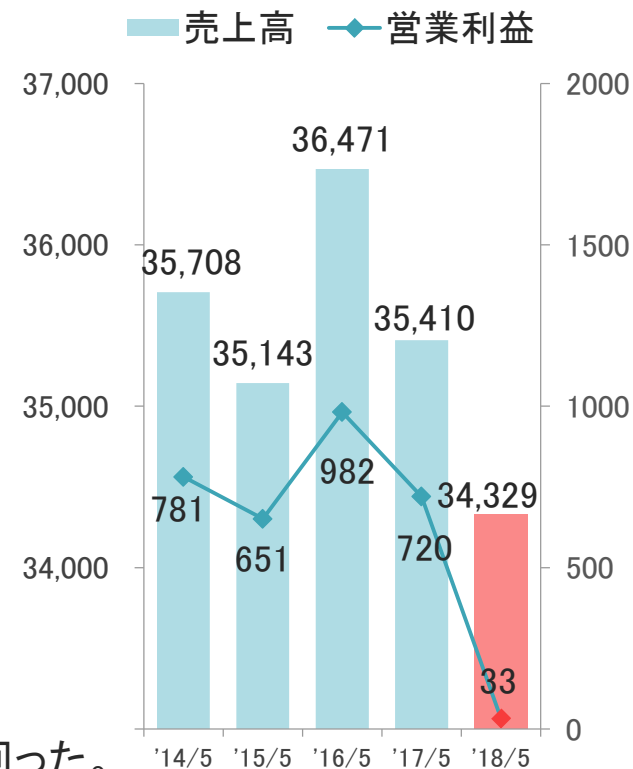
■ 一般家庭向けカーペット、ラグ・マット

消費マインドの冷え込みが続くなか、売上は前期を下回った。

■ 壁装関連

「ルノンフレッシュプレミアム」が堅調に推移し、売上は前期を上回った。

以上のほか、構造改革費用として在庫の評価損などを計上。



自動車・車両内装事業

(単位:百万円)

	当期	前期	前期比(率)	前期比(額)
売上高	59,758	56,377	+6.0%	+3,381
営業利益	3,331	3,034	+9.8%	+296

自動車内装事業 フロアカーペット、シート地、天井表皮材等、 自動車内装材をトータルで販売

■ 国内

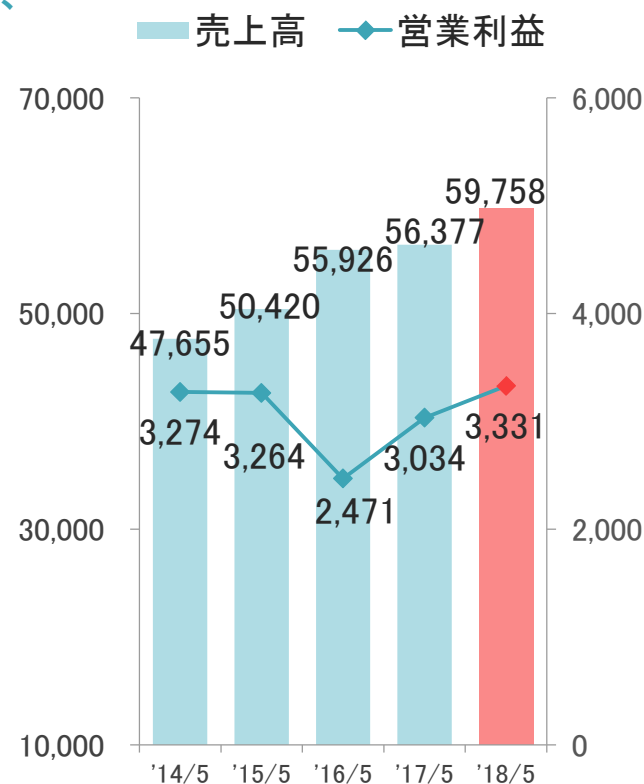
輸出需要による生産の拡大を背景として、シートファブリック事業では新規商材が好調に推移したことなどから売上を伸ばした。また、カーペット事業では、内装材に加え外装部品も受注が拡大し、マット事業では、高級敷物が新たに採用されるなど好調に推移した結果、売上はともに前期を上回った。

■ 海外

米国子会社STAが収支改善への取り組みを続けるなか、日系自動車メーカーの生産が好調なアジア市場においては、中国を筆頭にタイでもシートファブリック事業の新規商材の受注が拡大した結果、売上は前期を上回った。

自動車内装事業全体

売上、営業利益ともに前期を上回った。

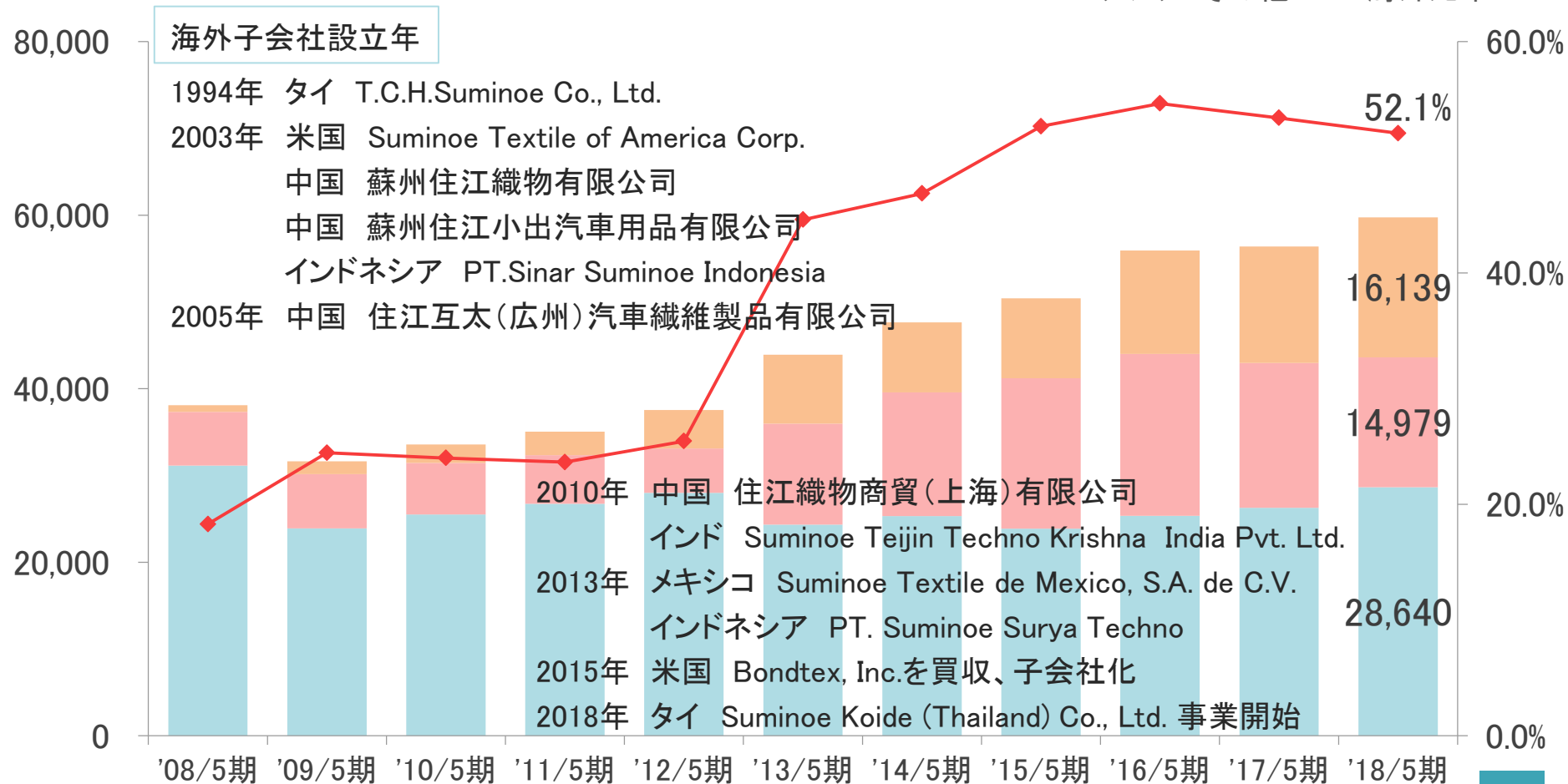


自動車・車両内装事業

自動車・車両内装事業における海外売上高推移

(単位:百万円)

日本 アジア・その他 北中米 海外比率



自動車・車両内装事業

車両内装事業

鉄道・バス・航空機・船舶にシート地やカーペット、リサイクル性に優れたシートクッション材「スミキューブ®」等を販売

■ 鉄道向け

JRおよび私鉄の大型案件はなかったものの、非繊維商材の販売が好調に推移し、売上は前期を上回った。

■ バス向け

これまで業界の景気を牽引してきたインバウンド需要に変化がみられ、従来のツアー形式から少人数の旅行へと形態が変化したことによって大型バスの利用が減少し、バスの新車生産が落ち込んだ。また同様に、バスリニューアルも減少したため、売上は前期を下回った。

■ 航空機向け

シート地および新たに納入を開始した商材も一巡し、売上は前期を下回った。

車両内装事業全体

売上、営業利益ともに前期を下回った。

機能資材事業

機能性資材、ホットカーペット、独自消臭加工技術によるフィルター等の販売等、
新たな分野で事業を展開

(単位:百万円)

	当期	前期	前期比(率)	前期比(額)
売上高	3,647	4,087	△10.8%	△439
営業利益	176	125	+40.2%	+50

■ ホットカーペット

販売数量を伸ばしたものの、商品構成が変わり、減収減益となった。

■ 消臭・フィルター関連

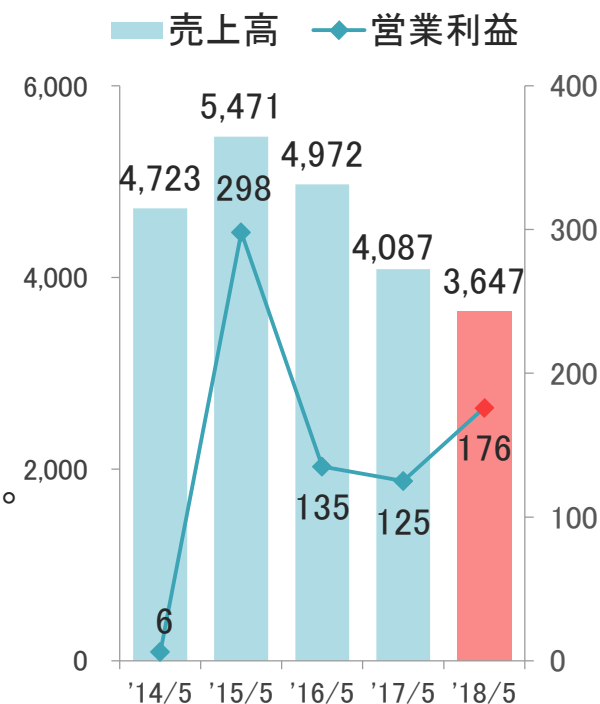
空気清浄機および暖房機向け消臭フィルターや、パッケージをリニューアルした家庭用脱臭・消臭剤Tispaシリーズ「香りでごまかさない 本当の消臭」が好調に推移し、増収増益となった。

■ 浴室向け床材

堅調に推移したものの、売上、営業利益ともに前期に届かなかった。

■ ダストマット向けポリエステル長繊維「スミロン®」、 航空機向けカーペット

好調に推移し、増収増益となった。



中超住江 デバイス・テクノロジー株式会社を2016年12月末に連結の範囲から除外した。

連結バランスシート

(単位:百万円)

	当期末	前期末
資産	92,182	90,254
現預金	9,531	7,050
売上債権 ※電子記録債権含む	23,056	22,586
たな卸資産	16,634	16,545
その他の流動資産	4,170	4,752
有・無形固定資産	28,224	28,890
投資その他の資産	10,566	10,429
負債	53,640	52,855
仕入債務 ※電子記録債務含む	19,354	19,236
短期借入金	13,588	12,411
その他流動負債	4,929	4,571
長期借入金 ※社債含む	5,808	6,535
その他固定負債	9,960	10,101
純資産	38,541	37,398
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	10,822	10,266
自己株式	△ 364	△ 362
その他有価証券評価差額金	3,154	3,035
土地再評価差額金	7,797	7,797
その他評価・換算差額	441	341
非支配株主持分	4,484	4,113

有・無形固定資産

減価償却が進んだことにより、前期末比6億66百万円減の282億24百万円となった。

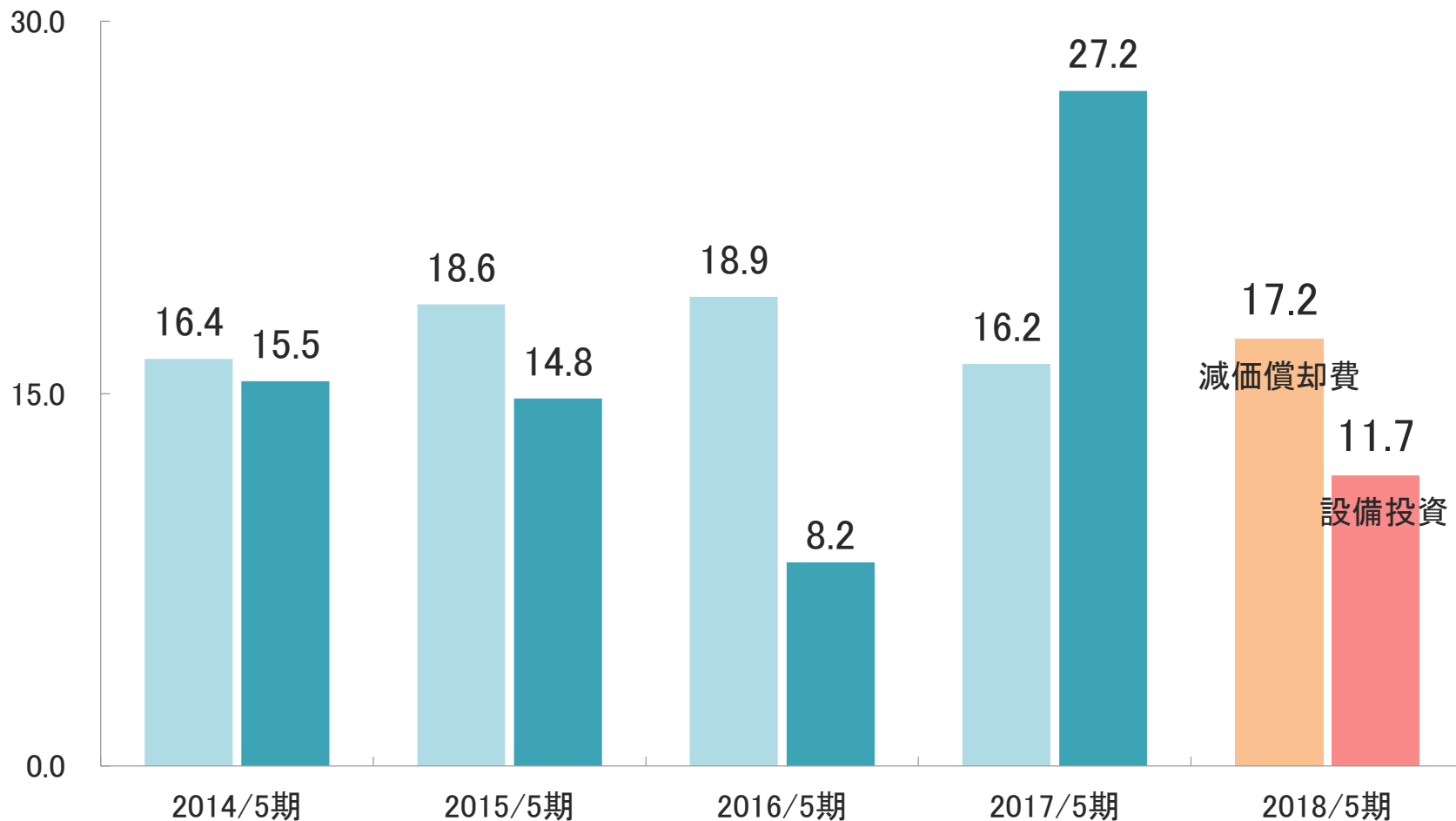
借入金(短期・長期・社債)

海外拠点の短期借入金が増加したことなどにより、前期末比4億49百万円増の193億96百万円となった。

設備投資・減価償却費

(単位:億円)

■ 減価償却費 ■ 設備投資

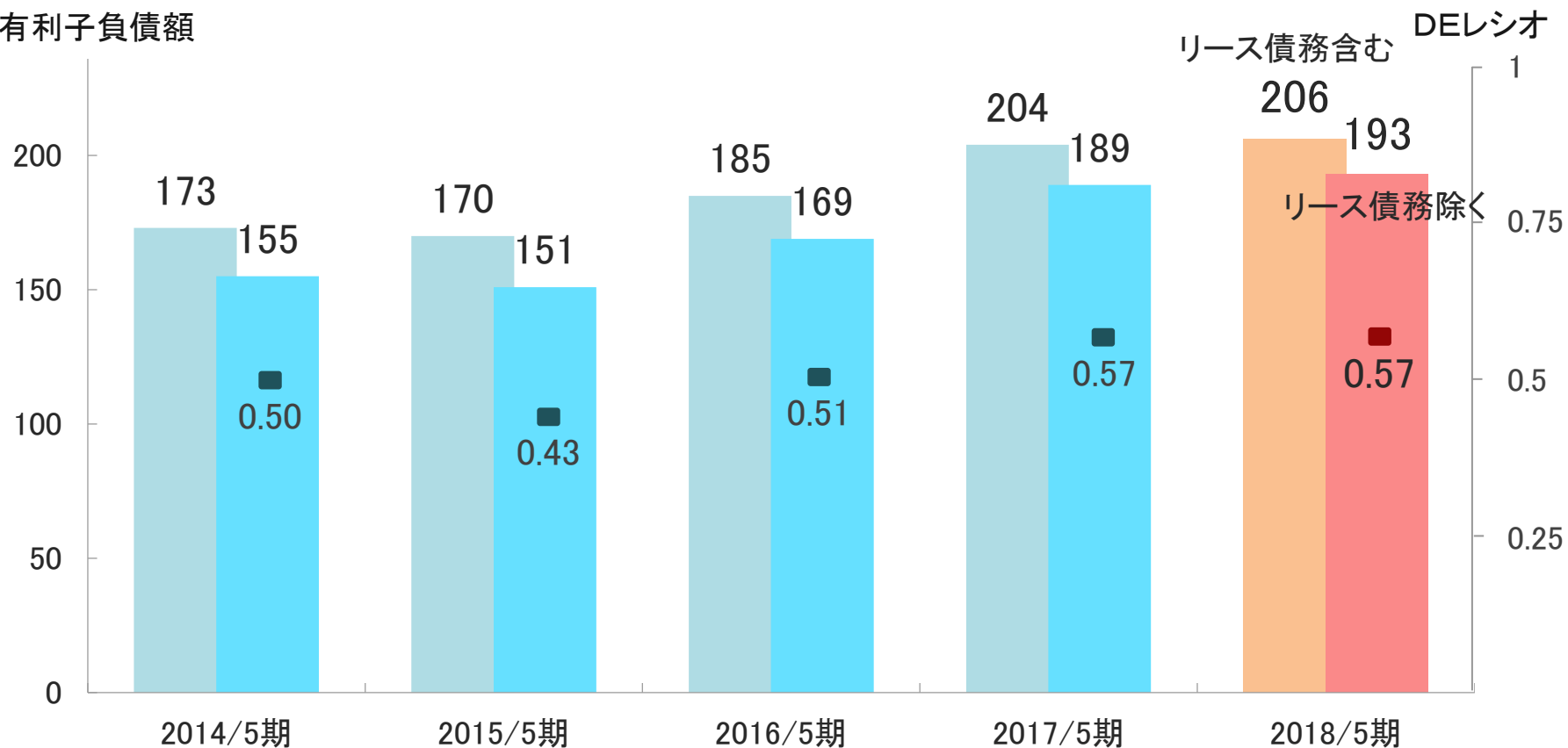


有利子負債

■ リース債務含む ■ リース債務除く ■ DELレシオ

(単位:億円)
有利子負債額

(単位:倍)



※DELレシオ... $\frac{\text{有利子負債(リース債務除く)}}{\text{純資産(非支配株主持分除く)}}$

2019年5月期 連結計画

売上高 **975** 億円

(2018年5月期 978億72百万円)

営業利益 **31** 億円

(" 22億47百万円)

経常利益 **33.5** 億円

(" 23億58百万円)

親会社株主に帰属する

当期純利益 **19** 億円

(" 10億83百万円)

国内経済は、引き続き緩やかな改善が見込まれるものの、海外では、米国の通商政策を巡る対立や新興国通貨の為替変動リスクもあり、先行きの不透明さが増している。

売上は、インテリア事業の再構築や為替換算の影響による前期比減収を見込んでいるが、利益面では、引き続き好調な自動車内装需要から、増益を予想している。

2019年5月期 事業セグメント別計画

(単位:百万円)

売上高		2019年5月期	2018年5月期	前期比増減	
				(率)	(額)
	インテリア	35,450	34,329	+3.3%	+1,120
	自動車・車両内装	58,140	59,758	△2.7%	△1,618
	機能資材	3,780	3,647	+3.6%	+132
	その他	130	137	△5.6%	△7
	合計	97,500	97,872	△0.4%	△372

営業利益		2019年5月期	2018年5月期	前期比増減	
				(率)	(額)
	インテリア	210	33	+531.0%	+176
	自動車・車両内装	4,180	3,331	+25.5%	+848
	機能資材	140	176	△20.7%	△36
	その他	80	68	+17.4%	+11
	調整額	△1,510	△1,361	-	△148
	合計	3,100	2,247	+37.9%	+852

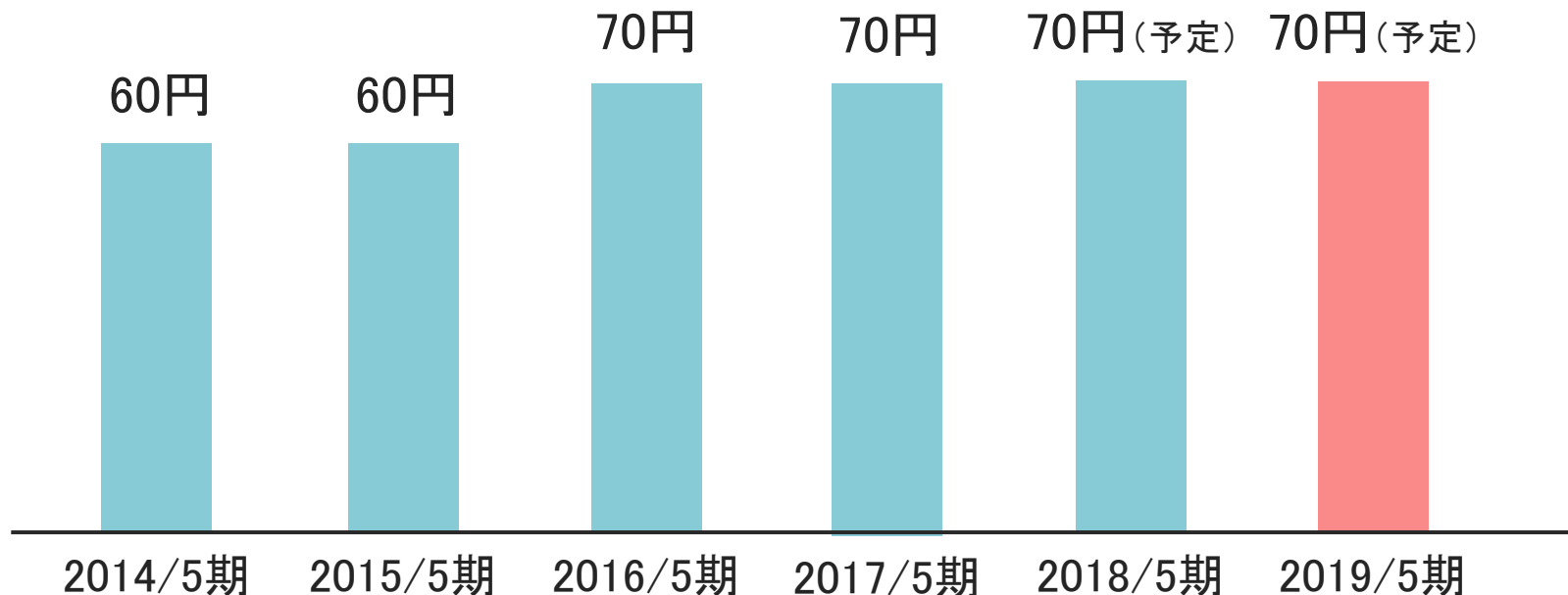
株主配当について

■ 2018年5月期および2019年5月期について

- 2018年5月期の中間配当は3円50銭を実施、期末配当は35円を予定。
※ 2017年12月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、期末配当は35円となる。
- 2019年5月期は、中間、期末ともに1株当たり35円、合わせて年間70円の予定。

■ 配当額の推移

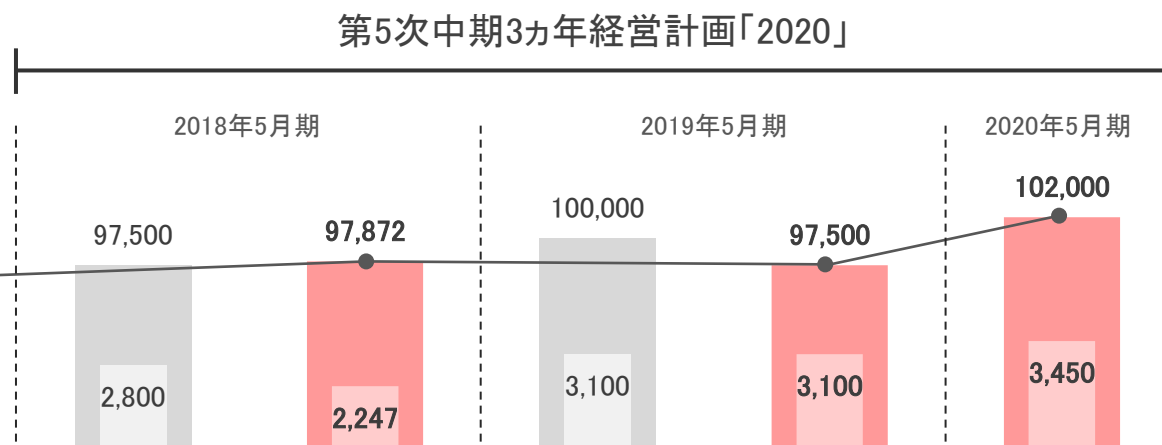
※株式併合後を基準に算出した数値を表示。



第5次中期3カ年経営計画「2020」

2017年6月にスタートした第5次中期3カ年経営計画「2020」では、「**企業ガバナンスの再構築**」と「**事業の成長**」という2つのテーマのもと、諸施策に取り組んでおります。

○連結数値目標



	2017年5月期	2018年5月期		2019年5月期		2020年5月期	
	実績	策定時計画	実績	策定時計画	期初計画	策定時計画	
売上高	96,038	97,500	97,872	100,000	97,500	102,000	
前期比		98.5%	101.5%	101.9%	102.6%	99.6%	102.0%
営業利益	1,297	2,800	2,247	3,100	3,100	3,450	
営業利益率		1.4%	2.9%	2.3%	3.1%	3.2%	3.4%
経常利益	1,364	2,950	2,358	3,350	3,350	3,750	
親会社株主に帰属する当期純利益	26	1,500	1,083	1,900	1,900	2,200	
ROE	0.1%	4.5%	3.2%	5.5%	5.5%	6.0%	

第5次中期3カ年経営計画「2020」

取り組んでいる課題

1. コンプライアンス遵守ならびに管理体制の見直し

経営層と従業員が情報共有し、双方向コミュニケーションを図りながら、一体となって諸問題の解決にあたるため、以下の施策に取り組んでいます。

- 全社統一フォーマットによる「週報」・「月報」の報告義務化
- 経営層による「歩き回る経営」

2. 基幹システムの再構築

収支や在庫をタイムリーに把握、経営判断に活かし、また、効率的かつ効果的なモニタリングを行うため、グローバルで基幹システムの再構築を進めています。

3. 事業の拡大

お客様のニーズに柔軟かつタイムリーに応えるべく、以下の3つのテーマのもと、果敢にチャレンジしてまいります。

- 取扱い商材の拡大
- グローバル化の強化
- 高付加価値商材の開発・販売

高機能・高品質硬質床材を発売

インテリア事業

高機能・高品質硬質床材「BERRY ALLOC®(ベリー アロック) PURE LVT」を発売しました。

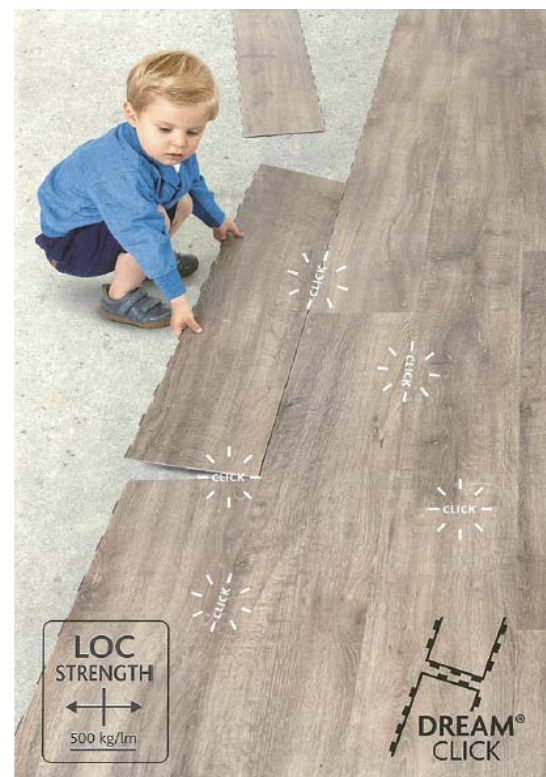
- 中期3カ年経営計画「2020」の課題である「取扱い商材の拡大」を進めます。
- LVT(Luxury Vinyl Tile)は、欧米で飛躍的な成長を見せている新しい硬質床材であり、単独またはカーペットとの組み合わせなど、多様な室内空間を演出することができます。
- 家庭用・店舗・病院・福祉施設・教育機関およびオフィスで需要拡大が期待されています。

■ 特長

- 3Dプリント技術によるナチュラルな質感
- 簡単施工
- ウレタン耐摩耗層による高い耐久性
- イージーメンテナンス



パルコールつま恋リゾートホテル 客室



タイ新会社 カーマット事業を開始

自動車内装事業

2018年4月、タイ・チェンマイにて新会社Suminoe Koide (Thailand) Co., Ltd.がカーマット事業を開始しました。

- 中期3カ年経営計画「2020」の課題である「グローバル化の強化」を進めます。
- カーマットの生産拠点としては、日本、中国、インドネシア、米国、メキシコに次ぐ6カ国目の拠点であり、これによりアジア市場における受注能力が拡大します。



Suminoe Koide (Thailand) Co., Ltd.

- 資本金
16百万バーツ(55百万円)
- 出資割合
当社 65%
株式会社コイデックス 35%

床面表示フィルム「PH Film」の開発で工業技術賞受賞

首都圏通勤車両向け床面表示フィルム「PH Film」の開発で、当社テクニカルセンターの技術者2名が一般社団法人大阪工研協会の「工業技術賞」を受賞しました。



「PH Film」とは…

乗客案内と注意喚起に役立つ床面表示フィルム。鉄道車両内の優先スペースに、車いすやベビーカーのピクトグラムや文字を表示します。

■特長

- 難燃性、防滑性があり、火災時に発生する有毒ガスが少なく、鉄道車両に求められる基準をクリア。
- 表層基材に強度と耐摩耗性に優れた薄いフィルムを採用することで、端部の突っかかりによるめくれおよび転倒リスクを軽減。
- 表面の仕上げ加工の工夫により、鉄道車両の床材に求められる防汚性と防滑性の両立を実現。



大阪工研協会 工業技術賞

工業に関する研究、開発ならびに現場技術の改善に功績のあった対象に贈られます。

首都圏を走る車両での2年間の実車試験の結果、耐久性能が認められ、関東首都圏の通勤車両800編成を対象に採用されています。

■ 当資料の将来見通しに関するリスク情報

当資料における当社の今後の計画、戦略等の将来見通しに関する記述は、現時点で予測可能な合理的判断に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因で異なる場合がございます。